

2025 市房山 木霊ミーティング

ゴイシツバメシジミの保全についての 意見交換と合同観察



前日夜7月5日(土)は、**ヒメボタル観察会**
も予定しています。
興味のある方の参加をお待ちしております。

日時 2025年7月6日(日)
11:30-14:30

場所 市房山キャンプ場研修室および
市房山登山口周辺の森林

主催 ゴイシツバメシジミの郷を守る会
共催 一般社団法人球磨川NP
後援 水上村教育委員会



【趣旨】

ゴイシツバメシジミ（シジミチョウ科）は、天然記念物であり、国内希少野生動植物種のチョウです。原生的な照葉樹林で、溪流沿いの大木に着生するシシンラン（イワタバコ科）のつぼみや花を幼虫が食べます。国内では、奈良、熊本、宮崎で確認されていましたが、現存の個体群は、熊本の内大臣と市房山の2箇所のみです。

市房山は現時点では最大の個体群と考えられ、環境省、林野庁、水上村、研究者、地域住民（ゴイシツバメシジミの郷を守る会）により保全が進められてきました。

しかし、市房山がある球磨川流域は、2020年7月豪雨の被害を受け、生息地の中心的な河川では土石流が発生しました。内大臣と比較し市房山個体群は安泰ではないのかという話もありますが、原生林周辺の伐採、2020年豪雨時の土石流による森林と観察サイトの崩壊など、生息地の状況はかなり深刻です。

今回のミーティングでは、この貴重なチョウとそれがすめる森林を未来に残すためできることは何か意見交換をしたいと思います。

その後は実際の市房山照葉樹林やゴイシツバメシジミと一緒にみて、これからできることを考えたいと思います。

皆様の参加をお待ちしています。

【プログラム】

①ランチミーティング11:30-13:00 ※話題提供者、タイトルは仮

- ・ゴイシツバメシジミとは？（西和人・ゴイシツバメシジミの郷を守る会）
- ・保護増殖事業と地域住民の役割（松木崇司・環境省九州地方環境事務所）
- ・ゴイシツバメシジミの郷を守る会の調査の今後（一柳英隆・球磨川INP）

②ゴイシツバメシジミと森林の観察13:00-14:30

【申し込み・注意】

- ・人数把握のため、1週間前までに下記にご連絡ください。
- ・歩きやすい服装・靴でお越しください。
- ・昼食は御持参ください。こちらで用意することも可能です（市房観光ホテルのおにぎり弁当＋お茶750円）。
- ・ゴイシツバメシジミは天候等により観察できない場合もあります。

【連絡・申込先】

一般社団法人球磨川INP

メール：nagi.kumagawanp@gmail.com

電話：090-3476-1390（一柳）